

新潟県胎内市 第三セクター等経営健全化方針

この方針は、相当程度の財政的なリスクが存在する第三セクター等と関係を有する地方公共団体が、当該第三セクター等の抜本的改革を含む経営健全化のための方針を定めるものである。

1 作成年月日及び作成担当部署

作成年月日 平成31年2月5日
作成担当部署 胎内市農林水産課

2 第三セクターの概要

法人名 新潟フルーツパーク株式会社
代表者名 渡辺 俊一
所在地 新潟県胎内市塩沢543番地205
設立月日 平成10年7月6日
資本金 98,000千円【胎内市の出資額（出資割合） 96,300千円（98.2%）】
事業内容 果実類の生産及び販売

3 経営状況、財政的なリスクの状況及びこれまでの地方公共団体の関与

新潟フルーツパーク株式会社は平成9年から平成15年に造成された果樹園及び普通畑の管理運営を目的として設立しました。その農地取得やぶどうの苗木、果樹棚等に要した経費についての借入金及び利息は当市が損失補償をしており、市からの補助金で返済している状況となっています。会社の収入は、主としてワインの原料となる加工用ぶどうの販売収入で、そのほか市の果樹畑の管理委託や市が運営しているワイナリーの醸造補助の委託業務を請け負っている委託料収入であり、近年は累積欠損金が減少してきている状況です。

4 抜本的な改革を含む経営健全化の取り組みに係る検討

現在、市で運営している胎内高原ワイナリーで醸造しているワインは日本ワインコンクールにおいて金賞をはじめとする各賞を複数年で受賞したこともあり評価が高まっています。そのワインの原料は新潟フルーツパークで収穫されたぶどうを原料としていることから会社の運営継続は必要と考えています。ワインは需要に対し供給が足りていない状況となっているため、市としてもワインの製造量を増やすことは急務と考えており、加工用ぶどうの栽培数を増やすことで生産量の増産による経営健全化に向けて協議検討を進めています。

5 抜本的改革を含む経営健全化のための具体的な対応

加工用ぶどうの増産に向けての、苗の手配と植栽場所、それらに係る経費の積算など具体的に動き出しています。しかし、加工用ぶどうは植栽から収穫するまで4年ほどを要するため長期的な計画となりますが、生産量を増やすことで経営健全化を進めていきます。

(参考)

6 法人の財務状況

	項目	金額（千円）				項目	金額（千円）		
		平成27年度	平成28年度	平成29年度			平成27年度	平成28年度	平成29年度
貸借対照表から	資産総額	160,018	157,528	158,680	損益計算書から	経常収益	12,655	15,702	14,730
	（うち現金預金）	1,376	3,480	8,874		経常費用	37,813	35,354	33,609
	（うち売上債権）	0	0	0		経常損益	△ 25,157	△ 19,652	△ 18,878
	（うち棚卸資産）	0	0	0		経常外損益	34,114	33,660	33,790
	負債資産額	117,926	101,608	91,580		当期純損益	8,776	13,827	11,179
	（うち当該地方公共団体からの借入金）	0	0	0					
	純資産額	42,092	55,920	67,099					